

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：石田英也（いしだ ひでや） 住所：三木市吉川町長谷 年齢：31 歳</p>	<p>農地：170a（借地 20a） 施設：パイプハウス 2,000 m² 経営内容：経営主 水稻 120a ぶどう 50a 労働力：本人、妻、父 出荷先：観光ぶどう園、直売所</p>   <p style="text-align: center;">ぶどうハウスの状況</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2002年 就農 2005年 長谷生産組合 会計 2009年 経営移譲 パイプハウス（ぶどう）建設 現在に至る。</p>	<p>○良かった点 自分で時間の調整が出来るので育児等が協力して行える。</p> <p>○苦労した点 家族経営のため家族と過ごせる時間は増えるが、仕事では各々の主張がぶつかり合う事が多く、ストレスがたまる事もある。</p>
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>学生の頃は一般企業への就職を考えていたが、実家の農業を手伝っていた祖父が体調を崩して以降、父親からの誘いを受け悩みに悩んだ末就農を決意した。</p>	<p>はっきりいって農業は甘くないです。ただ努力とやり方次第ではすごく魅力的な仕事になると思います。</p> <p>それから家族の理解が大切です。とりわけ奥さんを大事にしてください...。</p>